



11 月定例会報告 & 現業職の採用再開問題

- 《トピックス》
- 1 面…ご挨拶、11 月定例会のご報告、平成 24 年度予算要望提出
 - 2 面…現業職の採用再開問題
 - 3 面…平成 24 年度予算要望書概要
 - 4 面…京都市長選挙について団長談話、市政報告会開催、今後の活動

《ご挨拶》

新年あけましておめでとうございます。旧年中は皆様方には大変にお世話になりました。本年も宜しくお願い申し上げます。昨年 4 月の市会議員選挙において、皆様方のお力を頂き、4 議席を頂戴することができました。選挙後は、政務調査に精力的に取り組んでおります。本号では議会活動の報告を中心にご紹介させていただきます。是非、御高覧ください。

《11 月定例会のご報告》

11 月市会では 36 件の議案が審議され、可決されました。補正予算では、保育所の待機児童対策に 1700 万円、台風などの自然災害により被災した道路や河川の復旧に 1 億 1700 万円、動物園整備基金へ 3 億 2500 万円の寄付を積み立てました。また、同時に子ども手当への給付費が 38 億円減額されたため、合計 33 億 8400 万円の減額補正となりました。

条例改正を伴う議案では独立行政法人化に向けた京都市芸術大中期目標の設定、京都市の障害者施設における障害者自立支援法への対応、建築制限の緩和を含む岡崎活性化ビジョン実現に向けた取り組み、東山区南部における学区の再編を審議し、可決致しました。



11 月定例会議案説明の様子

《平成 24 年度京都市予算要望書を提出》

昨年 12 月 15 日、平成 24 年度の「京都市予算編成及び今後の施政方針に対する要望書」を京都市に提出致しました。京都党市会議員団にとって、初めての予算要望。重点要望 11 項目を含む 69 項目にまとめあげました。あれもこれもと云った予算要望ではなく、財政再建に向けた行政改革を中心に、未来の京都に必要な施策のみを掲載しております。星川副市長に予算要望に対する基本方針をお伝えした後に、報道各社に対して予算要望を発表致しました。



予算要望書提出の様子

■京都市長選挙について団長談話

京都党は結党から 1 年 4 ヶ月が経ちました。初めの 8 ヶ月は、候補者を擁立し、まずは議会へ議員を送り込む第一フェイズ、本年 4 月以降は、議会での立場の構築と更なる組織拡大を目指す第二フェイズに突入をしております。

新人議員も徐々に議会にも慣れ、京都市の行政課題に対し、チェック機関としての機能を果たすべく日夜、精力的に取り組んでおります。

その中で行政に対し、改革が遅々として進まない、変わらない現状に苛立ちが募ることもあります。

勿論、市長を変えねば変わらないという思いもあります。

しかしながら、今は、議会内における二極構造の破壊と三極構造の構築、即ち与党でも野党でもない、まさに市民与党といった第三局の確立を果たすことが、地域政党京都党に課せられた命題であり、市民の皆様が期待して頂いた部分であると認識しております。

立法の立場に立って、他党には出来ない、しがらみを廃した立場で、最大限出来ることを行い、地域政党としての立ち位置を明確化させ、京都の未来のために汗する覚悟であります。したがって、本市長選挙については一党一派に与さず、議会人としての役割を粛々と果たして参る所存であります。



市長選挙についてのプレスリリース

平成 23 年 12 月 18 日
地域政党京都党 代表 村山 祥栄

■地域政党京都党「市政報告会」を開催

1 月 15 日（日）、市政報告会を京都ロイヤルホテルにて開催致しました。地域政党京都党として行う初めての市政報告会、当日は冷え込みの厳しい日曜日の夕方にも関わらず、沢山の方にお越しいただき、会場が満席になるほどの会となりました。お越しいただいた皆様にご心より感謝申し上げます。

市政報告会は、村山代表からの最近の活動報告と出席者からの質疑応答を中心にとり行いました。

質疑応答では、議員定数削減のその後について、予算要望書の伏見区の土地の跡地活用について等のご質問を頂きました。今後も、市政報告会を通して市民の皆様の声を反映できるように邁進していく所存です。

何卒、より一層のご指導ご鞭撻を賜ります様、心からお願い申し上げます。



市政報告会の様子

《今後の活動について》

京都党の各議員及び常任幹事は街頭演説も市内各地で継続的に実施して参ります。スケジュールは京都党のホームページに掲載しております。「市政の今」をタイムリーにお伝えして参りますので、お時間が許せば、是非お越しください。

※公職選挙法上、選挙期間内は街頭演説を行うことはできません、1 月中の街頭演説は 20 日以降は行いません。

選挙終了後、街頭演説を再開いたします。 — 4 —